

空き家等活用についての市民ニーズに関するアンケート調査の結果

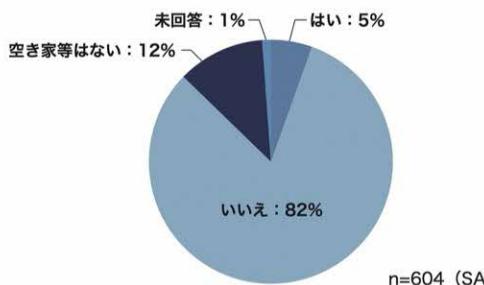
【アンケート調査の概要】

- ・調査期間：8月23日～10月21日
- ・調査方法：ポスト投函・郵送回収・Google フォーム

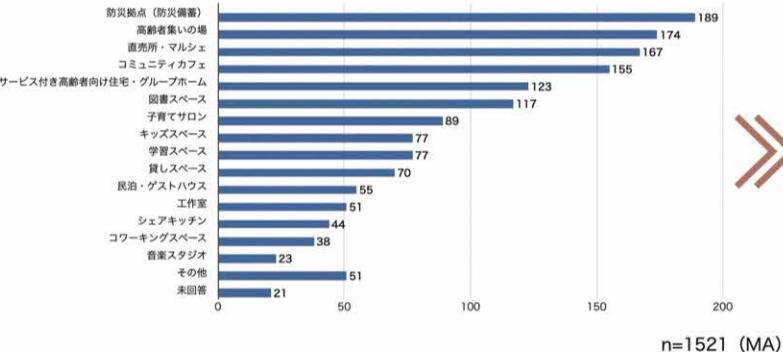
調査対象	配布戸数	回答数*	回収率
桜町商店街エリア	250世帯	59件	23.6%
本納エリア	250世帯	40件	16.0%
中の島エリア	700世帯	122件	約17.4%
駅近住宅エリア	800世帯	146件	約18.3%
緑ヶ丘エリア	1000世帯	237件	23.7%
合計	3000世帯	604件	約21.2%

*1世帯につき2件の調査票を配布した。ここでは、世帯数ではなく回収した全調査票数とする。また、Google フォームでの回答数を含む。

■空き家等が近所にある場合、現状のままで良いと思いますか



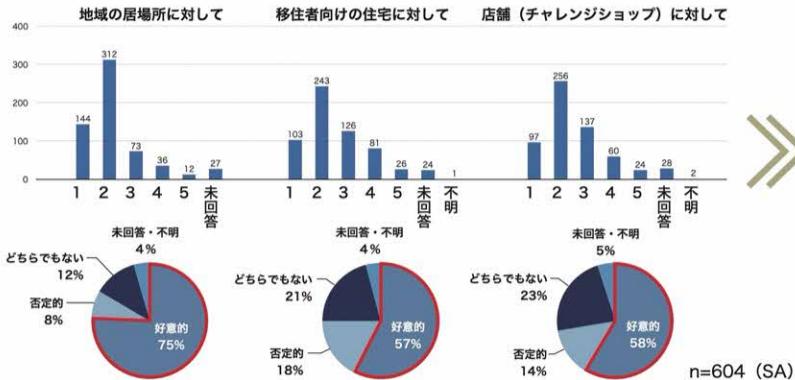
■空き家等を地域の居場所として活用する場合の用途希望



■その他の意見（抜粋）

- ・レンタルスペース
- ・若い移住者向けの施設
- ・駐車場が確保できれば良い
- ・小さな店舗は長続きしない
- ・小江戸川越のように
- ・定住者を増やせるよう住宅地として開発
- ・ゴルフ場
- ・若い人の起業のための施設
- ・高齢者施設があると、高齢者が移住しやすい

■補助金（税金）を使うことに対する考え方（用途別）評価方法：1：とても良い 2：良い 3：どちらでもない 4：あまり良くない 5：良くない



〈用途別に比較して〉

全体的に空き家等を活用するにあたって補助金（税金）を使うことに対して好印象だが、用途別に見ると「地域の居場所」に対して「移住向け住宅」や「店舗（チャレンジショップ）」に関しては否定的な意見が多く見られた。

※左の円グラフにおける表現は、

- ・好意的=1・2を選択した人
 - ・否定的=4・5を選択した人
 - ・どちらでもない=3を選択した人
- であり、その結果を割合として表示したものである。

■自由記述欄（抜粋）

空き家等活用への意見

- ・駐車スペースが心配
- ・車が停めやすい環境が整うと良い
- ・活用により、治安や環境悪化があると図る
- ・移住者との生活感が違うため、ゴミや音が心配
- ・自治会にも入らず、ゴミ清掃をしない移住者が多いため、新しい人を受け入れ難い

空き家の不満

・先日町内の大掃除の際に空き家が問題になった

・空き地の草刈り等もうまく考へて欲しい

・近所に迷惑かけるため、なんとかしてほしい

・朽ちて危険な空き家が多い

・解体できていない老朽化した空き家が多いことが問題

・空き家が多すぎるため、防災面・防犯面で危険を感じる

税金投資への意見

- ・税収が良くなる仕組みを考えてから税金を使ってほしい
- ・支援の範囲による
- ・形だけで終わらないよう、きちんと器を作って欲しい
- ・私の財産に対し、公平性という大義のため税金が使われるのを安易で不公平
- ・一部の人達だけへの補助は反対
- ・支援先を限定するのは良くない
- ・基本的に賛成だが、市内のリフォーム業者・不動産業者を利用することを条件にするなど、利益を生むモデルにするべき
- ・市だけでは中途半端になりかねないため、国の補助金も利用して欲しい
- ・移住・個人の店舗なら、不公平・上手く収入が得られるとも限らないため、貸与でいいと思う
- ・営利目的なら反対

住環境全般の不満

・駅前が寂しそぎる

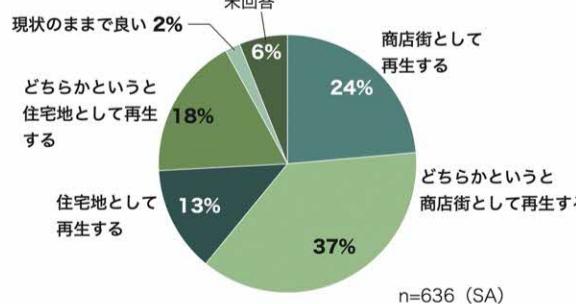
・小さい子供連れで気軽に立ち寄れる場所が少ない

その他意見

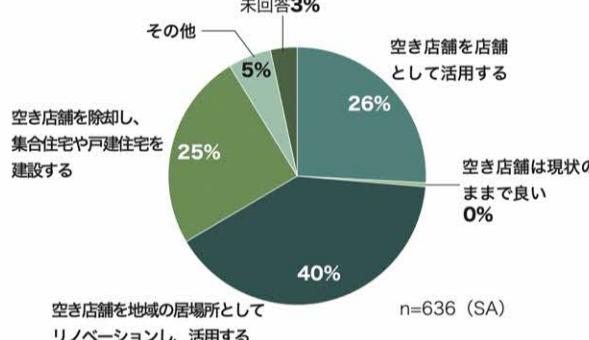
- ・車道、歩道、駐車場の整備から
- ・茂原市は住みやすいが認知度が低いのが課題
- ・自治体の意向を知りたい
- ・民間協力が必要
- ・移住者支援者を積極的に
- ・まずは人口を増やす市政を期待

榎町商店街に関する市民アンケート調査の結果

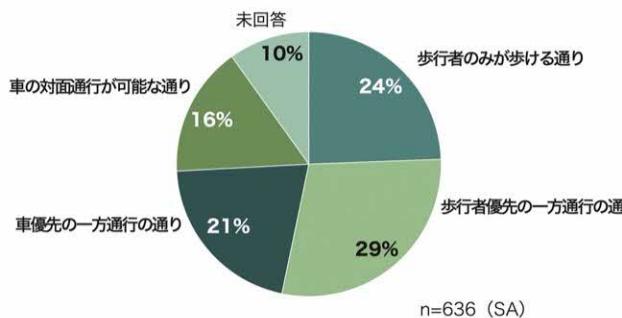
■榎町商店街の将来像について



■榎町商店街の空き店舗の将来的な活用方法の意向



■榎町商店街のメインストリート（榎町通り）はどうあるべきだと思いますか？



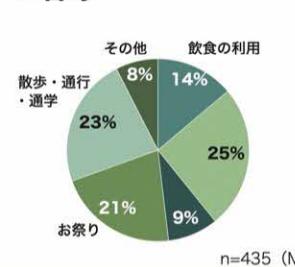
■榎町商店街に行く頻度



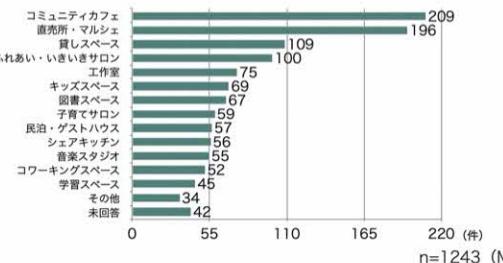
■交通手段



■目的



■地域の居場所として利用したい機能・サービス



アンケート調査の概要

調査期間：2021年8月23日から10月21日

調査の方法：ポスト投函・郵送回収・Googleフォーム

調査対象	配布戸数	回答数*	回収率
榎町商店街エリア	250世帯	57件	22.8%
本町エリア	250世帯	36件	14.4%
中の島エリア	700世帯	152件	約21.7%
駅近住宅エリア	800世帯	150件	約18.8%
緑ヶ丘エリア	1000世帯	241件	24.1%
合計	3000世帯	638件	21.2%

*1世帯につき2件の調査票を配布した。ここでは、世帯数ではなく回収した全調査票数とする。また、Googleフォームでの回答数を含む。



■その他の意見（抜粋）

榎町商店街を現状のままにしておくのは良くないと思っている方が大変多く、住民にとって必要な機能や空間は多岐に渡りました。昔のように賑わいのある商店街としての再生を望む声がある一方、現在の様子から商店街としての再生は難しいと感じている方も多い見受けられました。

交通

- ・榎町商店街の入り口付近に駐車場を作り、商店街の中は歩行者専用にすべきいいと思う。
- ・商店街を活性化させるには茂原市内の住人が茂原駅近くに簡単に移動できる手段が必要。

住宅地化

- ・住宅地と商店が一体化した計画を計画すべきである。
- ・駅に近いことを生かして住宅街にするのが有利。

法整備

- ・固定資産税を上げて土地家屋の有効利用していない現在の所有者を追い出してから計画すべき。
- ・駅近くの店の税を安くする

魅力・活気

- ・再生するには、日本のどこでもやっていない商店街、街並みを作ること、また、人を集め魅力ある街にする。
- ・歴史ある商店街であるのでぜひ復活して欲しいが単なる商店の集合では大型商業施設にはかなわない。特徴のある商店と施設が存在する「散歩も楽しめる様な街」。

子育て

- ・他の地域の比べると茂原市は子供が遊ぶ公園や施設があまり充実していない。魅力的な遊具があったり子供が楽しめる場所が増えるといいのですが、全く面白くない（子供にとって）場所だと感じる。孫が来ても持て余す。

防災

- ・水害のない貴重な中心街である。都市計画の見直しを行い、都市機能を充実させるべき。
- ・幸い水害は無ないので駅南側のお店の方々→東側へ引越すのも良い非難対策ではないかと思っている。

福祉

- ・榎町商店街を含めて駅周辺を再開発する。大学病院の誘致を考えもらいたい。
- ・茂原市全体がスプロールして、旧市街はいわば廃墟の様、むしろ老人施設を集約して老人の集まる通りの様に特化、特徴、インパクトのある街全体計画にしなくてはならないと思う。

空き家等の地域の居場所としての活用事例調査

1. コミュニティカフェ

施設名：ふじのきさん家
住所：東京都墨田区東向島2丁目4-3
運営組織：NPO法人燃えない壊れないまち・すみだ支援隊
営業日：水曜日定食屋、火～土2階貸しスペース
利用料金：定食500円、貸しスペース1,000～2,000円/h
事業内容：地域の寄り合い処であるとともに、防災に関する啓発を行う拠点
収入：新たな公共支援事業助成(内閣府・東京都生活文化局)
リノベーション費用：改修費880万円(追加改修約120万円含む)
工事費総額約1,200万円



2. コワーキングスペース

施設名：COCOTOMO
住所：群馬県桐生市本町5-51東部桐生ビル
運営組織：NPO法人キッズパレイ
営業日：年中無休(9:00-20:00)
利用料金：定休日なし(不定休)10:00-17:00
事業内容：「ともに学び、ともに働き、ともに未来をつくる」をコンセプトとするコワーキングスペース。市と連携して、様々な起業・創業支援の事業を実施
収入：地域商業自立促進事業(経済産業省)、無償貸与(桐生市)
リノベーション費用：詳細な費用不明



3. レンタルスペース

施設名：和みプラザ
住所：徳島県名西郡石井町石井字石井266
運営組織：(一社)働く女性のサポートセンター Woman's heart
営業日：不明
利用料金：3,000円/回+入会金、年会費
事業内容：古民家を改装した地域社会のプラットホームで、使い方が自由な地域交流スペース。少人数のセミナーや展示会や物販など様々な用途で利用が可能
収入：利用料金、行政からの補助金
リノベーション費用：500万円



4. 音楽スタジオ

施設名：音楽スタジオ・蔵
住所：千葉県長生郡長南町本台142-1
運営組織：株式会社こみん
営業日：年中無休(9:00-20:00)
利用料金：1日1組11,000円
事業内容：静かな里山の集落の一角にある蔵を活用した音楽スタジオ。個人、バンド練習の場として活用が可能
収入：利用料のみで、行政からの支援なし
リノベーション費用：詳細な費用不明



5. シェアキッチン

施設名：かめやキッチン
住所：東京都板橋区大山町40-5
運営組織：株式会社ジェクトワン
営業日：年中無休
利用料金：平日昼2000円/h
事業内容：長年の間地元の皆様に愛されてきた履物屋を活用した、次世代を担う人たちに使ってもらえるようなシェアキッチン
収入：キッチン利用料のみで、行政からの支援なし
リノベーション費用：詳細な費用不明



6. 工作室

施設名：西千葉工作室
住所：千葉県千葉市稲毛区緑町2-16-3 萩原ビル1階
運営組織：株式会社マイキー
営業日：木曜日定休
利用料金：スペース利用料3,000～5,000円
事業内容：ものづくりのためのスペースと道具をシェアするまちの工作室で、ものづくりを身近に感じてもらう場所
収入：不明
リノベーション費用：スタッフ自らがリノベーションを行った
詳細な費用不明



7. キッズスペース

施設名：いいおかさんちあそば
住所：東京都世田谷区玉川2丁目
運営組織：所有者の飯岡さん、株式会社グラディエ、やなぎ教育グループとの他有志
営業日：第2・第4曜日／ 利用料金：無料
事業内容：長年、保育に携わったオーナーが昔ながらの雰囲気のある自宅の一部を解放し、地域の子どもたちの見守りや子育ての場として利用されている
収入：助成金5万円(区)と世田谷まちづくりファンド助成
リノベーション費用：50万円程度



8. 学習スペース

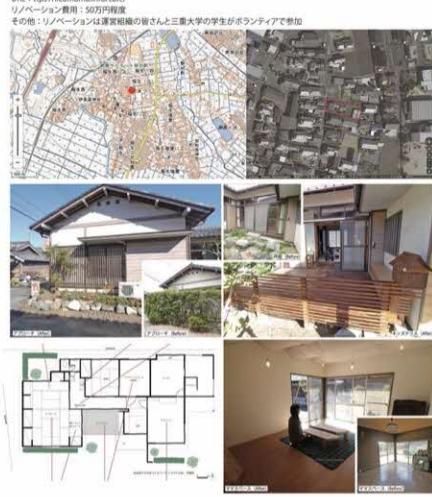
施設名：benten study place
住所：群馬県前橋市千代田町3-4-2 弁天シェアハウス1階
運営組織：前橋工科大学、家具店STYLE、NPO法人リ・デザインマネジメント研究所、県住宅供給公社
営業日：火曜日以外は中高生の塾として(料金はコース毎)、毎週火曜日と日中に中高生の学習スペースとして開放
事業内容：前橋工科大学の生徒がシャッター街化の進む商店街の空きビルを改装した、中高生のための学習スペース
収入：桐生信用金庫「わがまち基金」助成金と学生の利用料
リノベーション費用：40万円(クラウドファンディングより)



地域の居場所一覧

地域の居場所カルテ：子育てサロン

施設名: こどもの広場二子ヶ谷コマガタ・nico・mama
住所: 三鷹市高円寺北町3-28-2 開院時期: 2011年11月 / 従前の用途: 住宅
敷地面積: 13,000点で構成 / 土地面積: 567 m² / 建築面積: 108 / m²延床面積
敷地: 平原 / 構造形式: 木造 / 地上階数: 在宅専用
運営組織: 特別養護老人ホーム マザーズハイツボーネー / タフツ数: 不明
月額料金: 月曜日から月曜日 / 料理: 料食(朝食から夕食まで)
事業内容: 主に乳幼児(0歳~3歳)をもつママが気軽に立ち寄って交流したり、おさんといつ
いふことを主とします。月に1回はママのための会を開催します。
HP: www.mama-nico.com



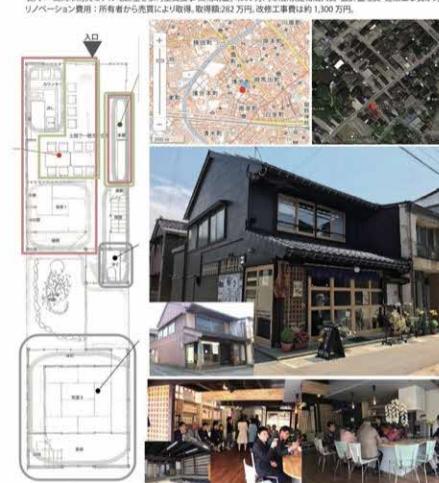
地域の居場所カルテ：図書スペース

登録名: **ごみ回収**
住所: 東京都立川市田無町4-10-10 / 開業年月: 2010年(2016年5月28日京都市一帯に拠点を移す)
電話番号: 03-5415-0000 / FAX番号: 03-5415-0001 / メールアドレス: info@yutori-gomi.com
年齢: 不定 / 性別: 不明 / 身長: 約175cm / 延長距離: 約75m
年齢: 不定 / 性別: 不明 / 構造形式: 不明 / 立地条件: 田舎(山の奥)の農業地帯
運送距離: 田舎野郎さん(空き箱を運び運営) / スタフ数: 不明(おそらく個人)
業務時間: 日曜13:00~18:00 / 利用料金: 料理
事業内容: 「地域の資源循環」をモットーに元お宅の荷物や、年次点検室状態だった物件を持ち主との交渉の末、図書室に改修するなど、様々なご提案を行っております。
日々の運送距離は、約175mで、年間で約15kmと計算してあります。日々の運送距離は、約175mで、年間で約15kmと計算してあります。



地域の居場所カルテ：高齢者集いの

施設名：博多駅前まちなかサロン
住所：福岡市博多区中洲川端町1丁目
開館時間：10時～20時／ 借切時間：20時以降
収容人数：3～14名（個室）／ 教室座席数：120名
建物面積：約85 m²／ 床延長面積：約165 m²
階数：2層／ 構造：木造（一部鉄筋コンクリート）
施設内：会議室／ 個室／ 教室／ 事務室／ 収容室／ 休憩室
運営組織：福岡市民社会／ タスク Force：不明
営業日：不定期（開館の日はあります）／ 利用料金：無料（但しイベントの部屋の使用料金は別途）
事業内容：室内・外の人々へ会話の方法を指導し、誰でもが楽しく会話をできる所を目指す。昔から地域の人々や子供たちが集まる場所（文部省認定「郷土愛育施設」）で、更に若者たちが集まる場所として利用。
※3：JR博多駅から徒歩5分、地下鉄中洲川端駅から徒歩3分、地下鉄天神駅から徒歩3分、地下鉄博多駅から徒歩5分



地域の居場所カルテ：防災拠点（防災備蓄）

住所: 新潟県阿賀野市大字中村 3-5 開館時間: 2020年8月26日から 始める場所: 住家
施設名: 阿賀野市立阿賀野歴史民俗資料館
敷地面積: 1230m²
建物面積: およそ100 m²
庭園面積: およそ80 m²
階数: 平屋
構造形式: 木造日本家屋、韻脚屋に改修
立地条件: 阿賀野川沿いの田畠と日本庭園が並ぶ
運営組織: 新潟市文化局
株式会社新潟こころ
スケッチ数: 1
常設展: 平洋(土佐内山)、利用料金: 施設料金+株式会社新潟こころの運営費見習料として貢献
開館日: 2020年8月26日
利用料金: 施設料金+株式会社新潟こころの運営費見習料として貢献
実施内容: 地域の歴史や文化を学ぶための講座やワークショップなどを実施している。
入館・利用料金: 施設料金+株式会社新潟こころの運営費見習料
由来: 遺産アート
登録登下り: 登録登下り



地域の居場所カルテ：直売所・マルシェ

千葉・足立区新所野地区の町名図24 / 開拓記念館 2015.12 / 『地区的用語』:小学校
年数:50年以上 / 地図面積:17,423.65m² / 建築密度:不明 / 人口:536世帯/1,348人:73m²
地形:低地・台地・丘陵・丘陵地・丘陵地・丘陵地・丘陵地・丘陵地・丘陵地・丘陵地・丘陵地
立地条件:千葉県新所野地区に位置し、JR京葉線に接する町にあり、所野駅と所野北駅に近くに存在する。
郵便番号:指定番号:郵便会社共通メルマックス番号:スケッチ番号:6,016
事業内容:1965年(昭和40年)に開拓された「所野」住居団地が、この通りの名前で定められている。
事業内容:1965年(昭和40年)に開拓された「所野」住居団地が、この通りの名前で定められている。
他の地理的・文化的・社会的特徴:オランダの「ハーベン」や「シティ」をモチーフにした名前を有する。オランダの「ハーベン」や「シティ」をモチーフにした名前を有する。オランダの「ハーベン」や「シティ」をモチーフにした名前を有する。オランダの「ハーベン」や「シティ」をモチーフにした名前を有する。



地域の居場所カルテ：サービス付き高齢者向け住宅・グループホーム

施設名: パークハウス西袋
所在地: 東京都葛飾区西袋3-12-7 共生ハウス西袋池袋
開店時期: 2020年6月／従前の用途: 住宅
敷地面積: 10,313m²／建物面積: 10,700m²／床面積: 140m²
階層構造: 地下2階建／地上5階建
立地条件: 豊島区内にある一般住宅地の中心地。周辺には池袋駅、立教大学がある
運営組織: 一般社団法人共生コミュニティネットワーク会議
スタッフ数: 8名
利用料金: 月賃10万円、書類費の月々賃料比は10%程度
事業内容: 「共生ハウス西袋」は葛飾区内に住むいたい人間（なまこら）も、お風呂がなかなか借りられていない人のための住むぞ。日々の出入りで、高齢者、障がい者、子供まで、住んでいる方の生活のサポートを実現する
施設名: パークハウス西袋
所在地: 東京都葛飾区西袋3-12-7 共生ハウス西袋池袋
開店時期: 2020年6月／従前の用途: 住宅
敷地面積: 10,313m²／建物面積: 10,700m²／床面積: 140m²
階層構造: 地下2階建／地上5階建
立地条件: 豊島区内にある一般住宅地の中心地。周辺には池袋駅、立教大学がある
運営組織: 一般社団法人共生コミュニティネットワーク会議
スタッフ数: 8名
利用料金: 月賃10万円、書類費の月々賃料比は10%程度
事業内容: 「共生ハウス西袋」は葛飾区内に住むいたい人間（なまこら）も、お風呂がなかなか借りられていない人のための住むぞ。日々の出入りで、高齢者、障がい者、子供まで、住んでいる方の生活のサポートを実現する



地域の居場所カルテ：民泊・ゲストハウス

住所：広島県福山市東原町15-7 開店時間：2016年／前述の用途：帝国→熊館
敷地面積：1000m² 地盤強度：約92mm 建築面積：約92mm² 建築基準法：約184m²(推定)
階数：2階建て 構造形式：木造 立地条件：千葉寺町東原町の山間に面して建てられてている
運営会社：MIRAIHASHI(みらいはし) スタッフ数：不明
宮宿：宿泊日毎 カリキュラム不定 利用料金：宿泊料金30000～125000円
事業内容：歴史ある宿である寺や自然を楽しみながら、登録有形文化財に指定された歴史的・伝統的な建物に宿泊できる
スタイル♪



地域の居場所カルテ：その他

スポーツ施設・ジム

The Wall Bouldering Co.

812-0857 福岡市博多区西月隈3丁目17-19
営業時間
平日11:00-22:30



ギャラリー・画廊